

版画が 織り成した

文化交流の 物語とは—



王概(編)
『芥子園画伝』(和刻本)より
宝暦3年(1753)、木版(部分)

「日本らしさ」とは、何を指すのでしょうか。

たとえば日本が世界に誇る浮世絵は、実は中国や西洋の表現手法を取り入れつつ百花繚乱の世界を開かせました。歴史を紐解くと、「日本らしさ」の奥には多様な文化的背景をもつ作品や人との交わりを見つけることができるでしょう。

本展では、日本現存最古の印刷物である《無垢浄光大陀羅尼經》から、仏教版画、絵手本や画譜、浮世絵、創作版画、新版画、戦後版画、現代版画へと連なる約240点を当館収蔵品から厳選して紹介。特に他の東アジアの国々とのつながりにも注目し、文化交流の視点で日本の版画1200年の歴史をたどります。

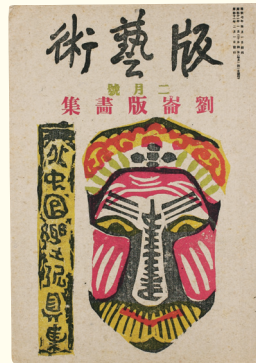
私たちが「伝統」、そして「芸術」として考える版画はどのように生まれ、どこへ向かうのか。この春、「日本の版画」1200年の旅に出かけませんか。



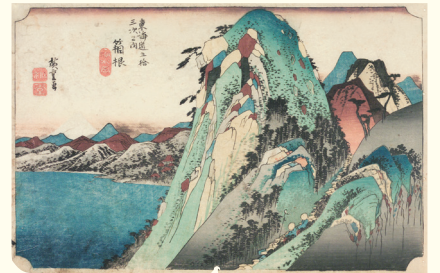
《内窓の二美人》
清時代(18世紀頃)、
木版手彩色[後期]



川瀬巴水《霧之朝(四谷見附)》
1932年、木版



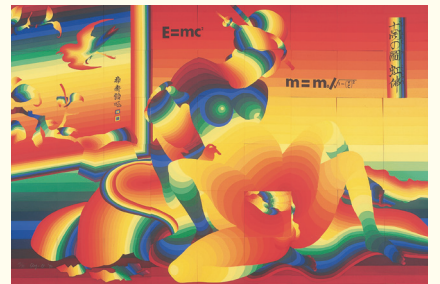
編集：料治熊太「版藝術」
〈劉嵩版画集 北中国郷土玩具集〉
1936年2月、木版



歌川広重《東海道五拾三次之内 箱根 湖水園》
天保4~5年(1833~34)頃、横大判錦絵[前期]



小林清親《海運橋 第一銀行雪中》
明治9年(1876)頃、横大判錦絵[後期]



穀嘯《レインボー北斎 ポジションA》
1970年、スクリーンプリント

*すべて当館蔵

◎関連イベント

★印のイベントは、町田市イベント申込システム「イベシス」HPあるいはイベントダイヤルでの事前申込が必要です。申込期間等、詳細については当館HPをご覧ください。

1. 記念講演会 ★

5月18日(日) 14:00~15:30

講師 | 山口晃氏(画家)

会場 | 講堂

定員 | 120名(申込順)

*本展観覧券(半券可)をご用意ください
作品制作にとどまらず、著書「へんな日本美術史」では独自の観点から日本美術史を論じてきた山口晃氏。実作者の立場から見た日本の版画の魅力を語っていただきます。

2. 0歳からの版画美術館!

親子で鑑賞&版画あそび ★

4月16日(水) 対象 | 0歳~未就学児とその保護者

5月17日(土) 対象 | 0歳~小学2年生とその保護者

10:15~11:45

講師 | 冨田めぐみ氏(NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表理事)

会場 | 講堂、企画展示室

定員 | 各回10組(申込順)

展示室での鑑賞と、お家で応用できる版画あそびが体験できます。

*保護者の方は当日有効観覧券をご用意ください

(お子さまは参加無料)

*対象学年を超えるお子さんの参加については申込時にご相談ください

3. 子ども講座 —みてみてつくる— ★

3月29日(土) 13:30~16:00

対象 | 小学3~6年生

講師 | 杉浦幸子氏(武蔵野美術大学芸術文化学科教授)

会場 | 講堂、企画展示室

定員 | 16名(抽選)

受講料 | 1,000円(材料費込)

展示会を鑑賞し、出品作品にちなんだテーマで小さな作品を制作します。

4. 復刻浮世絵版木摺り体験2025

5月24日(土) ①13:30~②14:30~

対象 | どなたでも(未就学児は要保護者同伴)

会場 | アトリエ

定員 | 各回10名(当日受付・先着順)

参加費 | 1人100円

5. 担当学芸員によるギャラリートーク

①1章~3章 仏教版画、浮世絵を中心に

4月5日(土)、5月17日(土)

②3章~5章 新版画、創作版画を中心に

3月23日(日)

③5章~7章 創作版画、戦後・現代版画を中心に

3月30日(日)、5月3日(土・祝)

担当 | ①宮崎黎 ②滝沢恭司 ③町村悠香

各日14:00~30分程度

会場 | 企画展示室1、2

*本展当日有効観覧券をご用意ください

6. プロムナード・コンサート

6月14日(土) 第1部 = 13:00~

第2部 = 15:00~(各回30分程度)

演奏 | 第1部 玉川大学芸術学部音楽学科

第2部 桜美林大学芸術文化学群音楽専修

会場 | エントランスホール

*鑑賞無料

毎週水・土曜日はフリークデー!

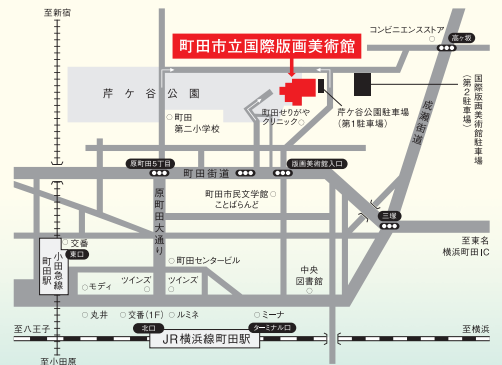
◎同時開催

特集展示

「ふぞろいの版画たち—西洋版画のシリーズとステート」

3月14日(金)~6月15日(日) 常設展示室

入場無料



小田急線・JR横浜線町田駅より徒歩15分